

令和6年度第1回埼玉県若年性認知症自立支援ネットワーク会議 会議録

日時：令和7年2月7日（金） 15時00分～16時00分
場所：オンライン開催

1 開会

- 今井地域包括ケア課長から開会挨拶

2 委員紹介

- 各委員から挨拶

3 議長選出

- 委員の互選により、議長に丸木雄一委員が選出

4 議題

(1) 若年性認知症サポートセンターの活動報告

- 若年性認知症支援コーディネーター松本由美子委員から令和6年度の若年性認知症サポートセンターの活動を報告

- 議題（1）についての質疑応答は以下のとおり

[後藤浩之委員]

- 6ページの研修会に参加し、非常に良い研修であった。講演3の若年性認知症の家族のおもいを聞き、専門職として大変勉強になった。

[花俣ふみ代委員]

- 県外からリンクカフェに初めてご参加された方が、その後すぐにメールを入れてくれた。一部紹介させていただく。

『私の中で認知症カフェ的な当事者の集まりに対しての意識が変化したなあと思わせるほどの良い会でした。この活動に参加される方の楽しく過ごす脳活動活性化？とデイケアなどのサービスでは補充できない一つの居場所であると思った次第です。何が良いか、雰囲気めっちゃ良かったです。自己紹介で1時間、こんなに盛り上がる。なぜか紹介するだけでなく、質問をする。なかなかできそうにないことを自然の流れでみんなする。これは素晴らしいと思ったわけであります。悩みの解決の場だけではないんだなと、人と人との対等な関係の中で、つながりをとても感じました。そこに皆さんの人生があり、認知症という共通点のみで、人と人が一つの場所で、なんとなく人の人生を知ることがとても素晴らしい場所づくりだと感じた次第です。ということでご自身のご友人、当事者の方も誘ってまた行きたいとい』という大変嬉しいメールが届いた。

こういう居場所がさらに増えることを願っていきたくと改めて強く思った。

(2) 認知症ご家族の体験談

- 令和6年12月3日（火）に実施した若年性認知症自立支援ネットワーク研修「認知症ご家族の体験談」の動画を視聴

(3) 質疑応答

[花俣ふみ代委員]

- 若年性認知症支援コーディネーターの方から、今課題と感じていることがいくつか上がっている。会議の場ですので、今後、課題についてさらに検証や課題解決に向けての方向性などの話し合いもできると大変ありがたいと思う。

- サポートセンターに繋がるまで時間がかかるようなので、増えることも大事であるが、スムーズなアクセスについても検討が必要と感じた。

[丸木雄一委員]

- 若年性認知症、特にアルツハイマー型認知症があった場合には、遺伝子を調べることが

できるようになってきた。

- アポリポタンパク E4 をダブルで持っている方や、シングルで持っている方は、そのお子さんたちに遺伝する。
- 現状の患者さんの遺伝子を調べると、レカネマブに対する副作用などがわかり、今無料で調べられる。
- 結果をお子さんたちに伝えるかどうか、もちろん事前に誰に話す誰に話さないかをやり取りするが、こうしたことも少し問題になってきている。
- 特に若年性認知症の場合には、すごく悩ましいところだが、逆に分かった方がよいというご家族もいる。早めに対応ができるためと、前向きな考え方を持つ方もいる。今後、若年性認知症に関しても、こうした対応をしっかりとっていく必要があると考えている。

5 閉会